（証券コード　東証1部：5957）

２０２１年１２月期
第１１６期　決算説明会

NITTOSEIKO
Taking new steps forward together

JPX 東証一部上場

2021 健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500

2021 健康経営銘柄

４月４日より「プライム市場」へ移行いたします。

NITTOSEIKO

1．2021年12月期　第116期　業績概要

2．2022年12月期　第117期　業績予想

3．サステナビリティ経営の推進

4．セグメント別の取り組み

5．経営の考え方

■ 説明者

代表取締役社長　　材木　正己

１．2021年12月期 第116期 業績概要

2021年12月期 第116期（連結）業績ハイライト

単位：百万円／%	20年12月期		21年12月期		前期比		21年12月期 業績予想比（2021年11月10日）		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	予想金額	増減額	増減率
売上高	32,904	100.0	**40,518**	100.0	7,614	23.1	41,000	△481	△1.2
売上総利益	7,640	23.2	10,285	25.4	2,644	34.6			
販売管理費	6,337	19.3	7,035	17.4	698	11.0			
営業利益	1,303	4.0	**3,249**	8.0	1,945	149.3	3,200	49	1.6
経常利益	1,418	4.3	**3,487**	8.6	2,069	145.9	3,300	187	5.7
税金等調整前当期純利益	1,359	4.1	3,606	8.9	2,246	165.2			
親会社株主に帰属する当期純利益	764	2.3	**2,200**	5.4	1,435	187.7	2,000	200	10.0
一株当たり当期純利益（円）	20.78		59.63				54.15		

●自動車、電機・電子部品をはじめ大半の業種で伸長。過去最高売上高４００億円を突破し前期比23.1％増収。

●デジタル技術活用、生産性・コスト効率性の向上に注力。前期比約２．５倍の営業増益。

●世界経済の回復を受けて、昨年5月にねじの一貫生産体制を整えたインドネシアをはじめ、台湾・中国など各現地法人の売上が好調に推移。

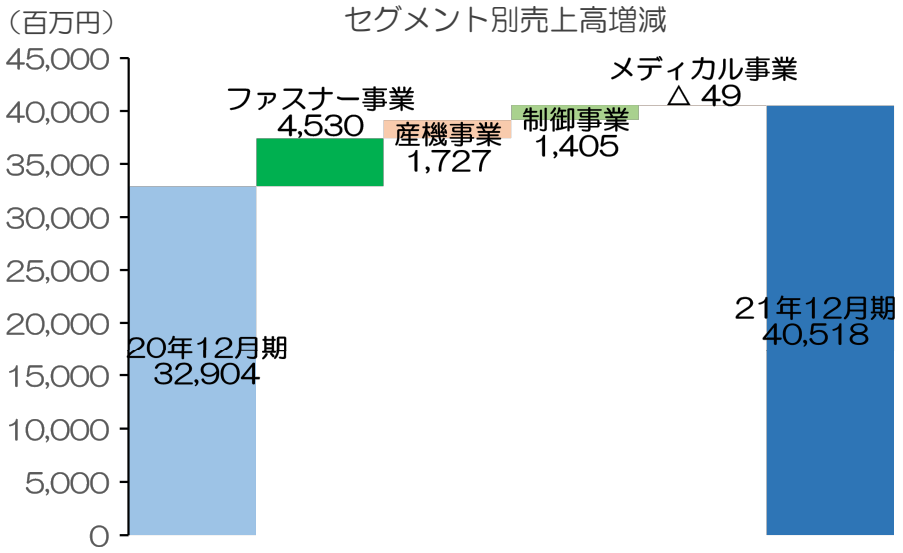
●巣ごもり製品のゲーム機関連、電動工具や３密対策商品の自転車などの需要増加に伴い、ねじ部品が好調。

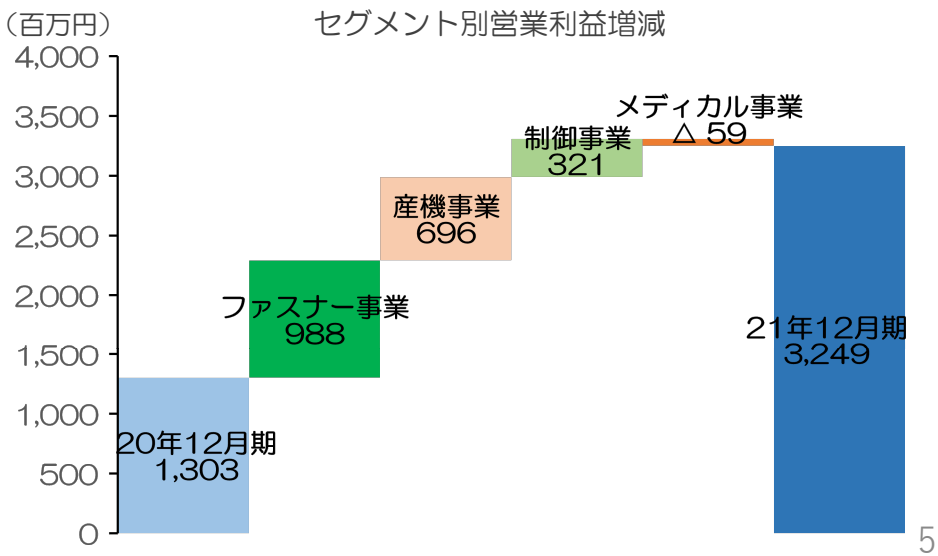
●CASE関連、EV車関連の新設ラインや大型設備の需要増により、ねじ締め機など産機事業は回復基調。

●連結子会社日東精工アナリテックは、分析機器などが好調に推移。売上増に寄与。

セグメント別売上高・営業利益（連結）

単位：百万円／%		20年12月期	21年12月期	前期比	
				増減額	増減率
ファスナー事業	売上高	23,366	27,896	4,530	19.4
	営業利益	557	1,545	988	177.1
	利益率	2.4	5.5		
産機事業	売上高	5,454	7,182	1,727	31.7
	営業利益	911	1,608	696	76.4
	利益率	16.7	22.4		
制御事業	売上高	4,010	5,416	1,405	35.0
	営業利益	△164	156	321	―
	利益率	△4.1	2.9		
メディカル事業	売上高	73	23	△49	△67.5
	営業利益	△1	△61	△59	―
	利益率	△2.1	△256.3		





セグメント別業績概要～ファスナー事業

単位：百万円／%	20年12月期	21年12月期	前期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	23,366	27,896	4,530	19.4
自動車	8,759	10,287	1,529	17.4
電機・電子部品	3,816	4,971	1,155	30.3
住宅・建築	4,116	4,752	635	15.5
雑貨	2,101	2,825	723	34.5
ＩＴ・情報機器	1,090	1,232	142	13.0
精密機器	1,159	1,080	△78	△6.8
医療	279	349	70	25.1
エネルギー関連	202	131	△70	△35.1
その他	1,844	2,269	424	23.0
営業利益	557	1,545	988	177.1

・半導体不足による生産調整の背景があるものの、コロナ禍におけるゲーム機や、パソコンなど巣ごもり需要拡大による精密ねじの売上増や、電子制御の進化に伴う車載用ＥＣＵ向け一般ねじの売上が好調に推移。

◆自動車
- EV化･電池関連を中心に、ギザタイト、アルミタイトなどの緩み止め機能ねじや、ECU基盤向け座金組み込みねじが好調。

◆電機・電子部品
- 巣ごもりの定着化に伴う家電需要の高まりを受け、家電向けねじ製品が大幅増。

◆住宅・建築
- 堅調な住宅需要を背景に住宅設備関連向けねじ製品が貢献。

◆雑貨
- 巣ごもり特需。ゲーム機、電動工具向けなど精密ねじが貢献し、大幅増。

◆ＩＴ・情報機器
- 半導体不足もリモート化の波を受け好調なパソコン、スマホ向けねじ製品が　堅調に推移。

セグメント別業績概要～産機事業

単位：百万円／%	20年12月期	21年12月期	前期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	5,454	7,182	1,727	31.7
自動車	3,722	4,293	571	15.3
電機・電子部品	612	924	311	51.0
エネルギー関連	147	634	486	331.3
住宅・建築	180	314	134	74.4
ＩＴ・情報機器	78	139	61	78.2
雑貨	13	61	47	369.2
遊技機	85	54	△31	△36.5
医療	52	6	△46	△88.5
その他	565	757	191	34.0
営業利益	911	1,608	696	76.4

- 好調継続のCASE関連やIT関連特需、特定ユーザ向け大型設備などの需要により回復基調。前年同期比31.7%増。
- 海外は、新車種対応、新エネルギー車向け、IT関連の生産設備の受注拡大により売上増に寄与。

◆自動車
- CASE関連、EV車関連の新設ラインや大型設備の投資が堅調に推移。
- 米国、中国、韓国、タイは、設備投資が活発な新車種、新エネルギー車向けなどの需要増加により大きく貢献。

◆電機・電子部品
- 巣ごもりの定着化により家電関連などの生産設備も需要拡大し大幅増。

◆エネルギー関連
- ガスメータ関連の生産・検査などの設備需要を受け大幅増。

◆住宅・建築
- 給湯機器関連などの設備需要が増加し、引き続き大幅増。

◆ＩＴ・情報機器
- 半導体不足によりHDD関連、通信基地局関連などは低調だったものの、スマートフォン関連の需要が増加。

セグメント別業績概要～制御事業

単位：百万円／%	20年12月期	21年12月期	前期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	4,010	5,416	1,405	35.0
化学・薬品	1,240	1,326	85	6.9
エネルギー関連	505	1,164	657	130.5
住宅・建築	333	553	220	66.1
造船	209	407	198	94.7
自動車	168	365	196	117.3
電機・電子部品	1	204	202	―
食品	116	113	△2	△2.6
その他	1,438	1,284	△152	△10.7
営業利益	△164	156	321	―

- 分析装置が化学・薬品、エネルギー分野で売上増に大きく貢献。
- 部品検査装置など省人化を進める自動車業界での需要増を受け好調に推移。
- 流量計は、医薬品関連や造船関連を中心に堅調に推移。
- 新製品地盤調査機の買替需要が好調に推移したことで回復基調。

◆化学・薬品
- 元素計、水分計など、分析装置の需要が堅調。

◆エネルギー関連
- 設備更新や新製品「NSX5000Vシリーズ」の発売、輸出向けの需要拡大など、分析器等の需要が拡大。売上増に大きく貢献。

◆住宅・建築
- 新製品「ジオカルテⅣ」への買い替え需要により回復基調。

◆造船
- 船舶排ガス規制強化を受けて流量計の更新が活発となり大幅増。

◆自動車
- 半導体不足に伴う自動車減産など設備投資に慎重となる背景はあるものの、省人化をキーワードとする部品検査装置「ミストル」などの需要により大幅増。

セグメント別業績概要～メディカル事業

単位：百万円／%	20年12月期	21年12月期	前期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	73	23	△49	△67.5
医療	73	23	△49	△67.5
その他	―	―	―	―
営業利益	△1	△61	△59	―

◆医療

- 「フリーレッド」は、医療機器販売会社を通じた販路拡大、臨床試用の拡大、原価低減に努めるも、長期化するコロナ禍により医療機関の経営状態の改善や、医療機関への訪問自粛の緩和はなく厳しい。
- 「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」は、上市に向けた医療機関を含むコンソーシアムの編成や、製造体制の構築など、早期の製品化に向けた取り組みを推進。

海外業績概要（21.4Q 実績）

連結売上の約26.5%が海外

エリア	エリア別 売上高比率	対象国	20.4Q比	コメント
東アジア （日本除く）	35.8%	中国	120%	巣ごもり需要によりゲーム機やIT関連機器のねじ需要が増加。自動車関連の生産設備投資も好調。
		韓国	118%	自動車関連の生産設備などが堅調に推移。
		台湾	134%	家電需要の高まりを受けて家電向けねじ製品が大幅増。 また、自動車関連のねじおよび生産設備関連の需要も好調。
東南アジア	43.3%	タイ	118%	自動車関連のねじ・ねじ締め機など需要が堅調に推移。
		マレーシア	112%	電機・電子部品やIT・精密機器関連の需要が堅調。
		インドネシア	145%	IT・精密機器、電機・電子部品、自動車関連などの需要が大幅増。
北米	12.8%	USA	127%	自動車関連の生産設備が回復基調
欧州	4.8%	ーーー	272%	日東精工アナリテックの分析装置などの需要が大幅増。
その他	3.2%	ーーー	151％	産機事業製品の需要が大幅に増加。

2021年12月期 第116期(連結)貸借対照表

単位：百万円／%	20年12月期		21年12月期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
資産の部						
流動資産合計	27,704	59.9	32,646	64.1	4,941	17.8
現金及び預金	9,287	20.1	11,415	22.4	2,128	22.9
受取手形・売掛金・電子記録債権	10,543	22.8	12,084	23.7	1,541	14.6
棚卸資産	6,916	15.0	7,926	15.6	1,009	14.6
固定資産合計	18,517	40.1	18,277	35.9	△239	△1.3
有形固定資産	12,933	28.0	13,092	25.7	158	1.2
無形固定資産	1,421	3.1	1,281	2.5	△140	△9.9
投資その他の資産	4,162	9.0	3,904	7.7	△258	△6.2
資産合計	46,222	100.0	50,924	100.0	4,701	10.2
負債の部						
流動負債合計	11,618	25.1	13,675	26.9	2,056	17.7
支払手形・買掛金・電子記録債務	6,674	14.4	8,069	15.8	1,395	20.9
短期借入金（一年以内返済の長期借入・社債含む）	2,847	6.2	2,610	5.1	△236	△8.3
固定負債合計	4,745	10.3	4,546	8.9	△199	△4.2
負債合計	16,364	35.4	18,221	35.8	1,857	11.4
純資産の部						
資本金	3,522	7.6	3,522	6.9	－	－
資本・利益剰余金	25,202	54.5	26,993	53.0	1,791	7.1
自己株式	△1,279	△2.8	△1,254	△2.5	25	0.0
純資産合計	29,858	64.6	32,702	64.2	2,844	9.5

2021年12月期（連結）キャッシュフロー計算書

単位：百万円	20年12月期	21年12月期		
	金額	金額	増減額	増減率
営業活動によるCF　※①	3,368	3,650	281	8.4
投資活動によるCF　※②	△3,164	△993	2,171	―
（フリーCF）　※①＋②	204	2,657	2,452	―
財務活動によるCF	△871	△704	166	―
現金及び現金同等物の増減額	△712	2,136	2,848	―
現金及び現金同等物の期首残高	9,012	8,299	△712	△7.9
現金及び現金同等物の期末残高	8,299	10,435	2,136	25.7

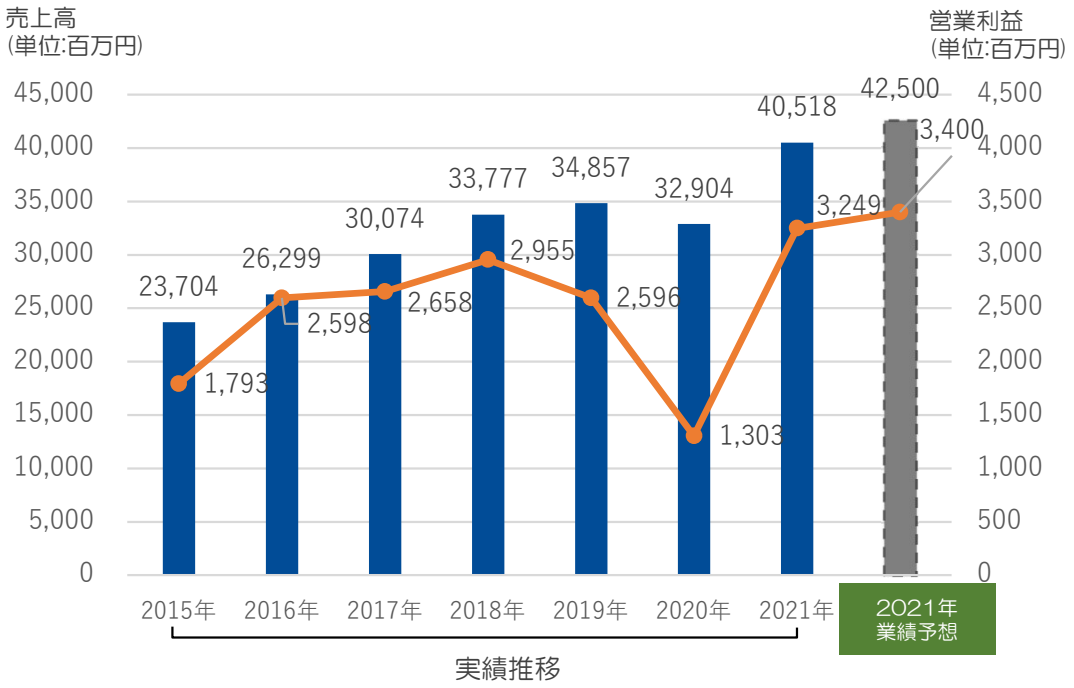
2．2022年12月期 第117期業績予想

本資料に掲載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によりこの見通しと異なる場合があります。

2022年12月期（連結）業績予想

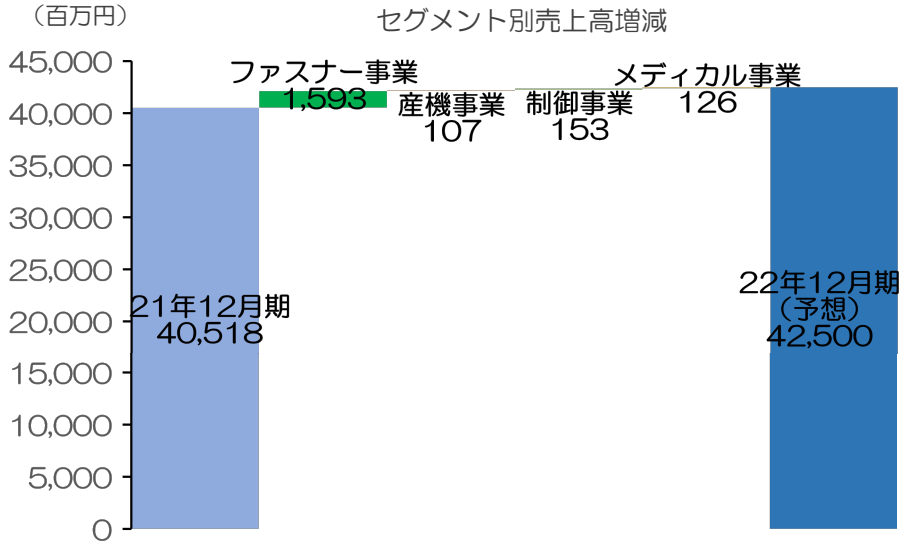
単位：百万円／%	21年12月期		22年12月期（予想）		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	40,518	100.0	42,500	100.0	1,981	4.9
営業利益	3,249	8.0	3,400	8.0	150	4.6
経常利益	3,487	8.6	3,500	8.2	12	0.3
親会社株主に帰属する当期純利益	2,200	5.4	2,200	5.2	0	0.0
一株当たり当期純利益（円）	59.63		59.57			

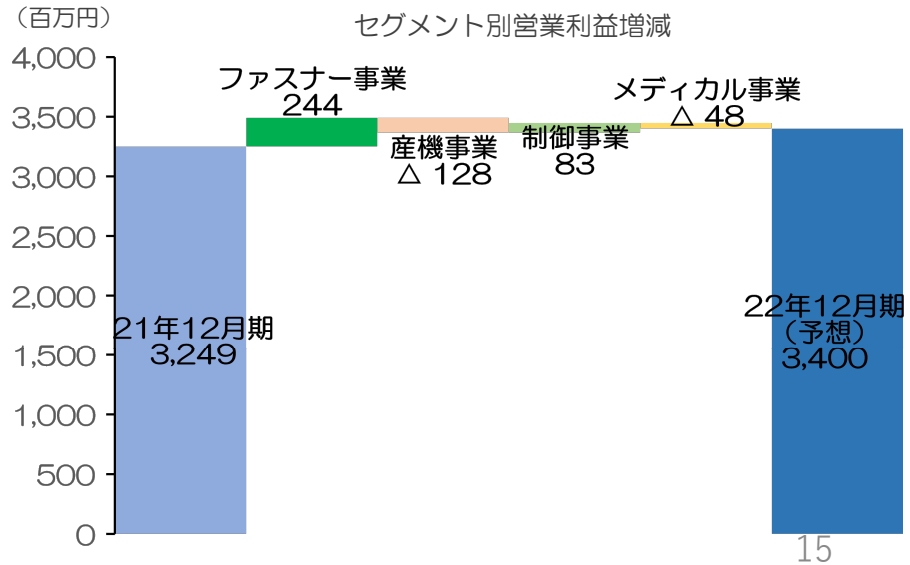
- ●自動車関連ではコロナ禍による生産低迷を挽回するために増産傾向にあり、好調に推移と予想。
- ●次世代自動車に搭載のEV関連やECU関連など引き続き好調と予想。ファスナー・産機事業の売上伸長を見込む。
- ●計測機器は、環境問題による材料開発や既存材料の変更などに伴う需要は堅調に推移すると予想。
- ●メディカル事業は、マグネシウム関連開発品の臨床試用を目指す。



セグメント別売上高・営業利益予想（連結）

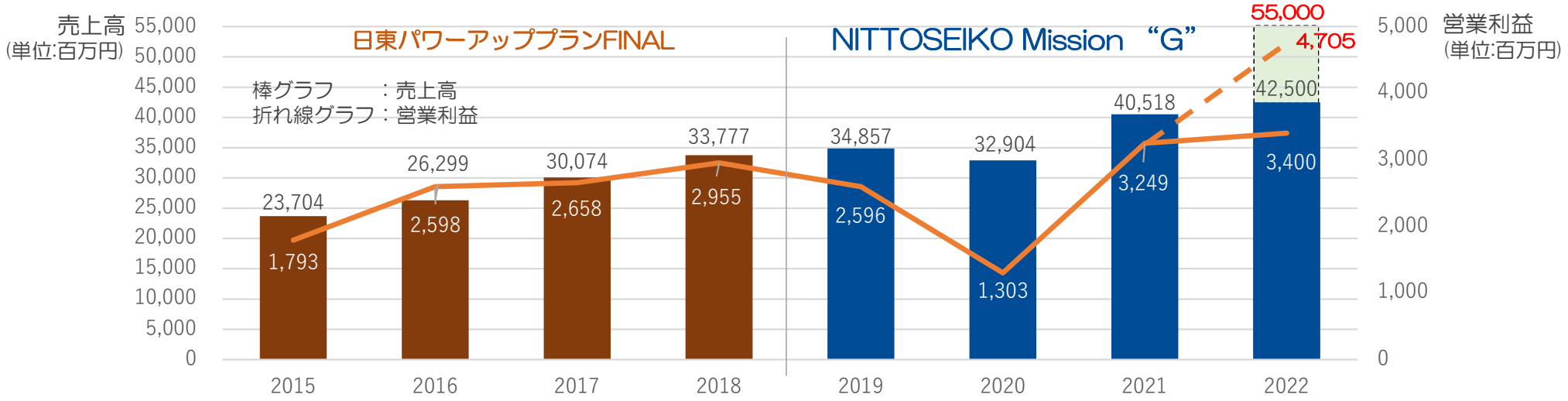
単位：百万円／％		21年12月期	22年12月期（予想）	前期比 増減額	前期比 増減率
ファスナー事業	売上高	27,896	29,490	1,593	5.7
	営業利益	1,545	1,790	244	15.8
	利益率	5.5	6.1		
産機事業	売上高	7,182	7,290	107	1.5
	営業利益	1,608	1,480	△128	△8.0
	利益率	22.4	20.3		
制御事業	売上高	5,416	5,570	153	2.8
	営業利益	156	240	83	53.1
	利益率	2.9	4.3		
メディカル事業	売上高	23	150	126	529.5
	営業利益	△61	△110	△48	―
	利益率	△256.3	△73.3		





中期経営計画との比較（連結）

単位：百万円／%	22年12月期（予想）		NITTOSEIKO Mission “G” 最終年度計画		計画比	
	金額	売上高比率	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	42,500	100.0	55,000	100.0	12,500	△22.7
営業利益	3,400	8.0	4,705	8.6	1,305	△27.7
当期純利益	2,200	5.2	2,896	5.3	696	△24.0



- ●2020年のコロナ禍による低重心経営への切り替え及び中期経営計画に基づく施策を一時中断したことにより、事業計画に大きく影響
- ●低重心経営において、前例廃止やデジタル化の取り組みなどで生産性、業務効率を見直し、収益体質の強化を目指す

設備投資額・減価償却費・研究開発費

単位：百万円	20年12月期	21年12月期	22年12月期（予想）
	金額	金額	金額
設備投資	1,313	1,171	1,300
減価償却費	1,176	1,294	1,350
研究開発費	630	715	730

設備投資の主な使途（2021年度）

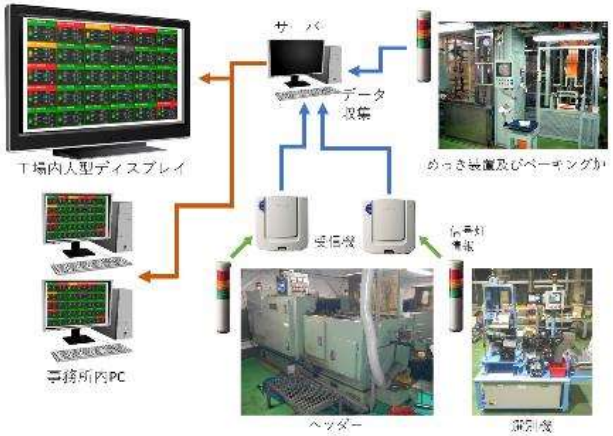
品質向上のための設備投資

めっき装置の更新による品質向上・生産力強化

ねじ製品のめっき品質向上と生産強化を目的に社内めっき装置を更新

Smart Factoryの導入

生産設備の稼動状態の監視強化



生産状況の監視強化とデータ記録製造現場の状態を見える化を図る

メディカル製造工場の整備

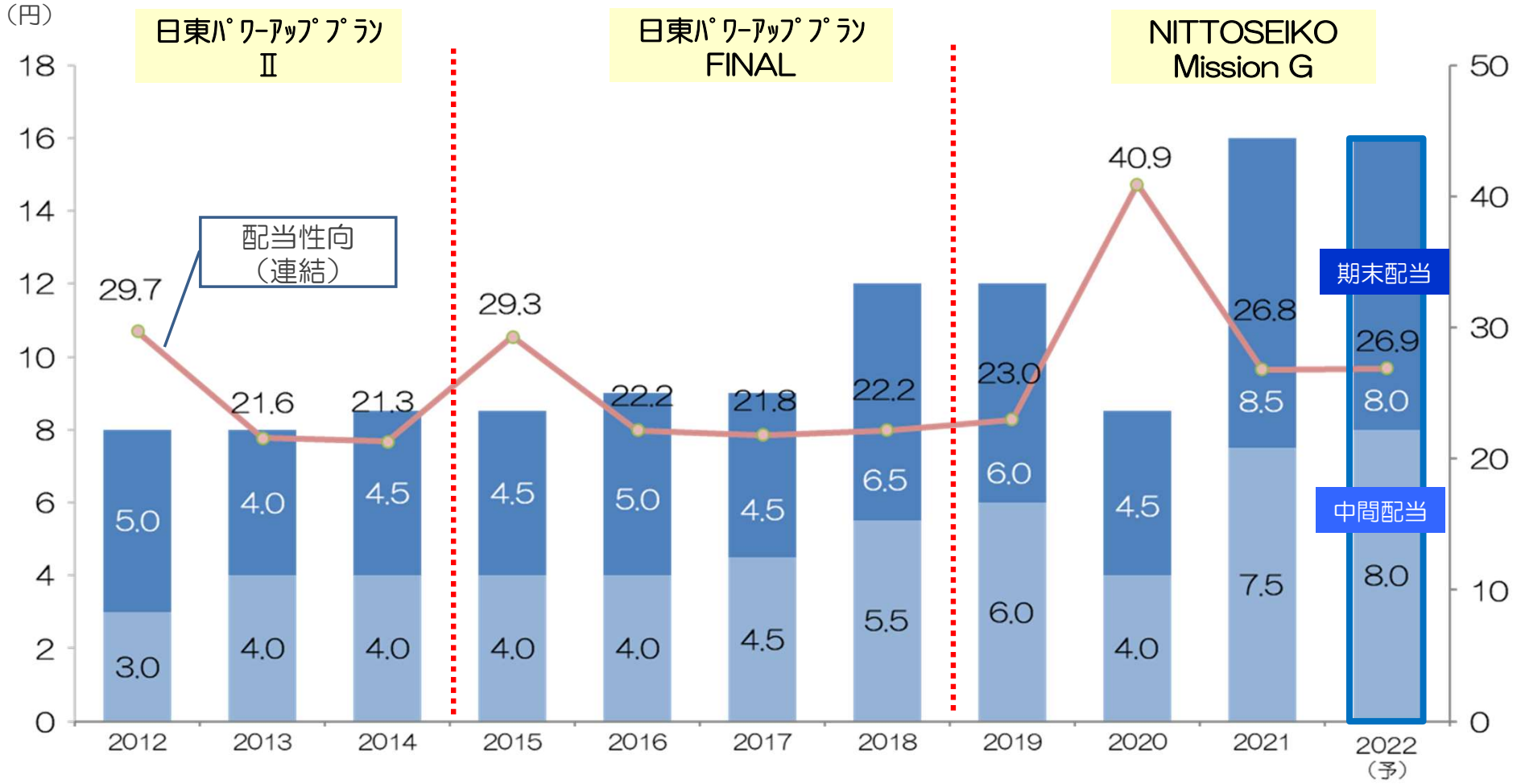
メディカル事業の推進

メディカル製造工場、研究開発実験室の整備により新製品開発環境を向上

株主還元

■利益配分に関する基本方針 ：
株主に対する利益還元＝業績に見合った安定的な配当の継続

中間配当：７．５円
期末配当：８．５円 } 年間１６．０円の配当



３．サステナビリティ経営の推進

サステナビリティ経営の推進【体制整備】

NITTOSEIKO

サスティナビリティ経営

ガバナンス体制

- サステナビリティ委員会
  - 連携
  - リスクマネジメント委員会
- サステナビリティ推進室
- 各推進活動
  - ・環境推進
  - ・社会推進
  - ・商品開発推進
  - ・人権推進
  - ・教育推進
  - ・広報推進

サステナビリティ推進室の傘下にある６つの推進活動を各専門委員会が計画に基づき管理、運営する。

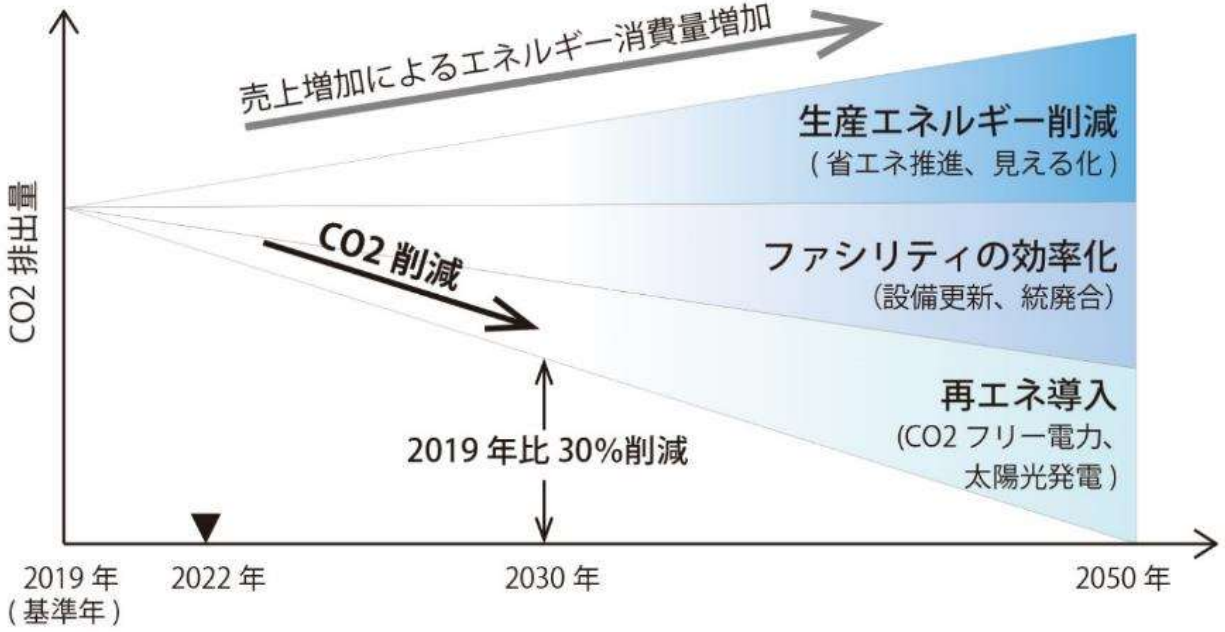
商品開発推進	気候変動対策の製品開発
社会推進	地域の活動・産業との協働
環境推進	CO2削減、廃棄物削減
人権推進	健康経営、多様性活用職場
教育推進	人材教育、エンゲージメント向上
広報推進	社内外へ発信

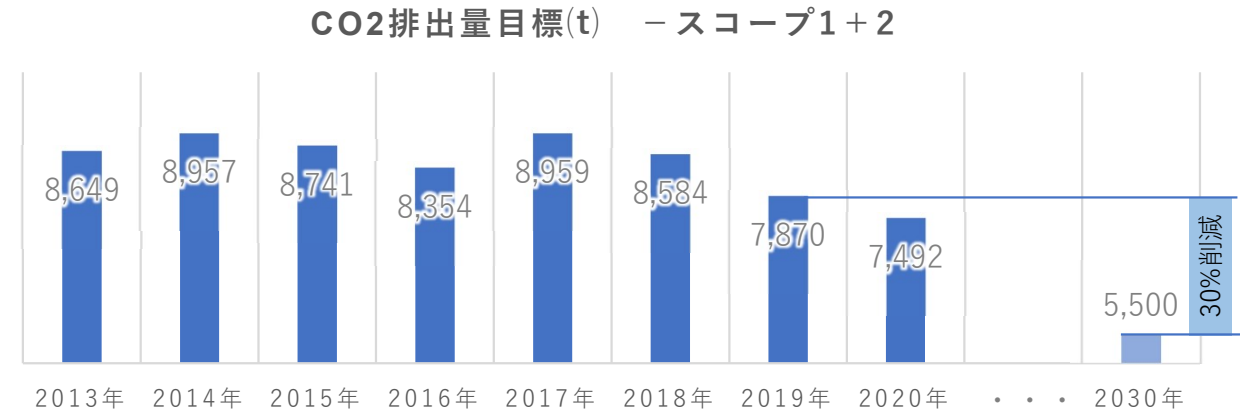
サステナビリティ経営の推進【環境対応】

CO_2削減

ガバナンス体制

- サステナビリティ委員会
  - ↕ 連携
  - リスクマネジメント委員会
- サステナビリティ推進室
- 各推進活動
  - ・環境推進ー環境委員会
- 各部署の活動
  - ↕ 一体化
  - ISO14001 管理体制
  - 社内KPIで管理





サステナビリティ経営の推進【ES向上】

エンゲージメント

Nicotto7（健康経営）

Nicoto7は、生活習慣病対策、メンタルヘルス、ワークライフバランスの改善を含む7つの項目を設定した自社独自の取組みです。全従業員参加で活力ある職場づくりを展開中です。

認定・受賞歴

健康経営銘柄2021

- 2021年3月認定

健康経営優良法人2021（ホワイト500）

- 2021年3月認定

スポーツエールカンパニー2022

- 2022年1月認定

健康優良企業認定証「銀」

- 2020年2月受賞

地方創生

家族ぐるめ

2021年7月～2か月間、地域の活性化と福利厚生を目的に綾部市内の飲食店で食事やテクアウトができるクーポン券を従業員に配布しました。

ネーミングライツ

綾部市のあやべ球場のネーミングライツを取得、夏には高校野球選手権京都大会も行わる本施設の運営を支援し、地域の活動を応援していきます

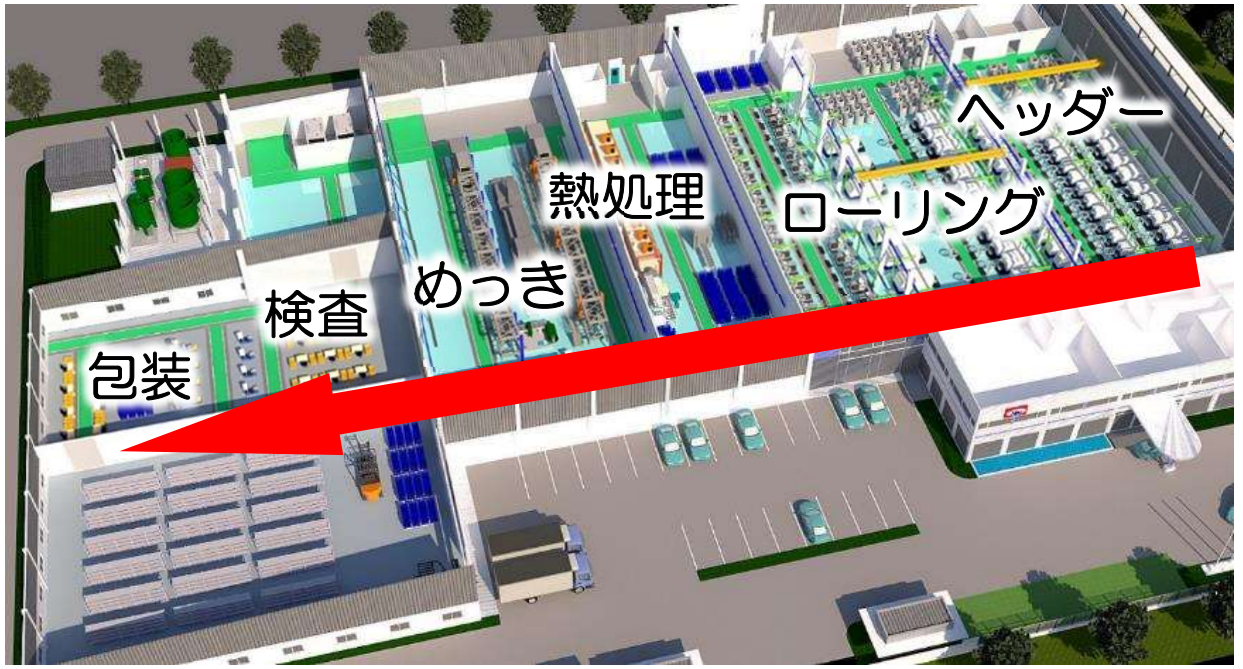
４．セグメント別の取り組み

～ファスナー事業の取り組み～

PT. NITTO ALAM INDONESIA

設備稼働	2021年5月
設備投資目的	一貫生産体制により、生産能力の拡大と品質安定
設備投資費用	約4億円
設備費用効果	月産生産能力約35%向上

第二工場（ブカシ県）一貫生産ラインを構築



主に自動車向けの冷間圧造部品を製造。
短納期と高品質のニーズに応えるとともに、汚染対策を施し環境に配慮した工場を目指します。

NITTOSEIKO

ケーエム精工及びピニングを子会社化

ケーエム精工2021年度業績

売　上　高：	3,292百万円
営 業 利 益：	415百万円
経 常 利 益：	423百万円
当期純利益：	284百万円

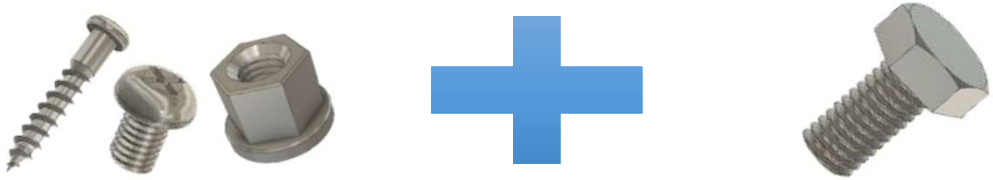
ピニング2021年度業績

売　上　高：	616百万円
営 業 利 益：	30百万円
経 常 利 益：	30百万円
当期純利益：	21百万円

製品ラインナップの拡充と締結ソリューションの強化

建築業界向けねじのラインナップ強化

締結ソリューションの強化

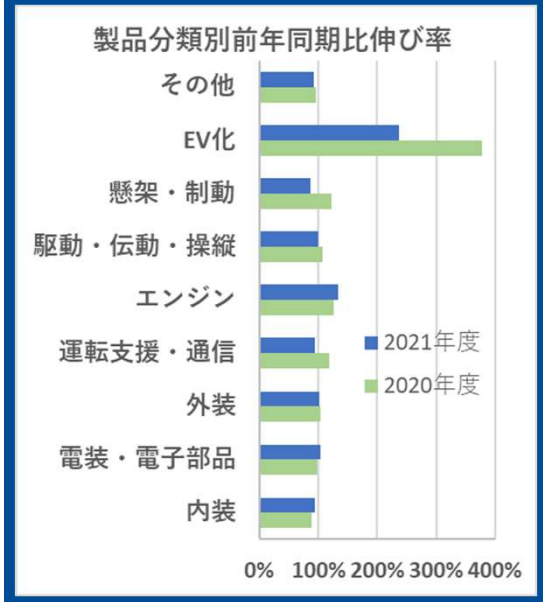


技術連携・生産連携・販売連携

ファスナー事業【業界向け製品戦略】

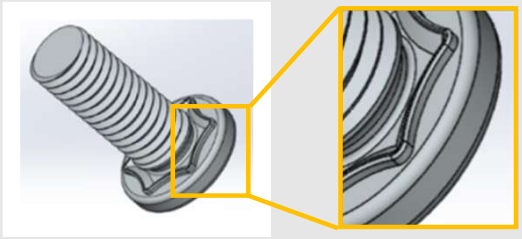
NITTOSEIKO

軽量化（低燃費化）

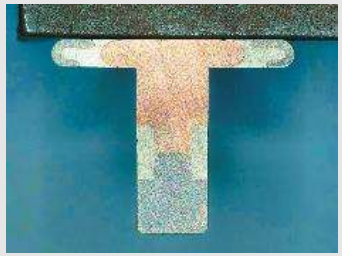


＊EV化の売上高比率は、2期連続で大幅に伸長。

軽量化による薄板部品の反りを軽減
新型クリンチングスタッドボルト



異種金属結合　複数の素材同士を強固に原子レベルで接合する新技術
AKROSE　HYBRID



軟質金属用セルフタッピンねじ
アルミタイト

特殊ねじ山形状が摩擦抵抗を低減し、振動や温度変化によるゆるみも防止。

樹脂用セルフタッピンねじ
ギザタイト

ねじ円周上に構成した４等分の溝部により温度変化や振動等の過酷な環境下で強力なゆるみ止め効果を発揮します。

コンタミ対策（電子部品）

ねじ切粉粘着型ねじ
CPグリップ

オイル系粘液を封入したマイクロカプセルをねじ先端部に塗布したねじ。
締結によりマイクロカプセルが破壊されることで、にじみ出た粘液が、めねじ成形粉や摩擦粉を粘着。
粉の飛散や落下を防止。
めねじ成型時に相手材との摩擦抵抗を減らして、ねじ込み性能をアップ。

家電
↓
自動車

ファスナー事業【顧客動向、見通し】

「軽量化」
「環境負荷低減」
「新生活様式」

ターゲット業界の見通し

	見通し
自動車 ・半導体不足による生産台数減の挽回に各メーカ強気の生産計画を発表し、上向きを予想。 ・ＥＶ化への開発投資が高まり、電池やＥＣＵ関連などがより好調と予想。 ・自動車メーカの組立作業コストや環境負荷を低減可能なオリジナルタッピンねじや新型クリンチングスタッドボルトなどの受注拡大を狙う。	上昇
電気・電子 ・海外はコモディティ化による大量品の受注拡大を見込む一方、国内は高級家電等に採用の高付加価値製品の受注拡大を見込む。利益率アップに期待。	やや上昇
雑貨 ・ゲーム機市場は巣ごもり需要の一服感があるものの、自転車/釣り具/時計等、生活様式の変化に伴う需要増の商品は継続して好調と予想。	横ばい
エネルギー関連 ・公共部門の定期的な入替需要を見込み好調と予想。また、将来的にアルミ部品の着実化が進むと見込みAKROSE製品の展開を図る。	やや上昇

４．セグメント別の取り組み

～産機事業の取り組み～

産機事業【業界向け製品戦略】

自動化、人協働（労働力不足）（集中管理）（社会的距離）

協働ロボット専用ねじ締めツール
PD400URシリーズ

世界的ロボットメーカUR社製協働ロボットに搭載可能なねじ締めツール。
世界展開への足掛かりに。

トルク表示付きねじ締めドライバ
NXドライバ(EtherCAT搭載)

締結結果などの締め付け情報を管理PC等へ通信する機能を強化。

EtherNet/IP
EtherCAT

位置補正カメラ搭載ねじ締めロボット
SR565Yθ-Z-VR

位置補正カメラ搭載により、締付対象ワークの位置ズレを補正。
最適なねじ締めを実現。

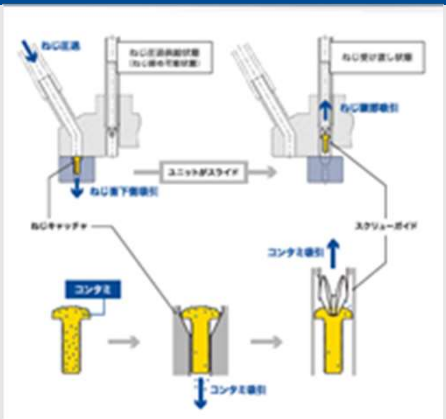
多軸自動ねじ締め機
FM5000

複数本のねじを同時締付け可能なコラム型多軸ねじ締め機。
作業時間短縮やパッキン介在ワークなどの片締め防止に貢献。

コンタミ対策（電子部品）

金属粉などのコンタミ対策製品
コンタミ対策ねじ締め機

ねじなどに付着した金属粉などを締結直前にエア吸引によって除去。
エア圧送によりねじ供給可能なため、所定位置へ移動してねじを取り出す取出方式に比べて大幅な時間短縮を実現。



産機事業【顧客動向、見通し】

「人協働」
「エネルギー転換」
「労働力不足」
「ICT化」

ターゲット業界の見通し

	見通し
自動車 ・新車種生産設備や新エネルギー車向け設備投資の継続を見込む。 ・延期、中断されていた設備投資の再開が見込まれ、国内外ともに商談、PR活動に注力。	やや上昇
住宅・建築 ・給湯器関係での継続した受注を期待。	やや上昇
エネルギー関連 ・超音波メーター検査装置の大型設備や付随するねじ締め装置の売上確保。 ・蓄電池用設備に期待。	横ばい
ＩＴ・情報機器 ・5Gなど通信基地局関連の動きに期待。	横ばい
その他 ・人手不足を背景とするロボット需要拡大に期待。 ・新製品の協働ロボットの世界展開による効果に期待。	上昇

４．セグメント別の取り組み

～制御事業の取り組み～

制御事業【業界向け製品戦略】

NITTOSEIKO

計測・計装
（品質向上）
（データ化）
（改ざん防止）
（作業効率）

質量流量計、容積式などの計測方式
流量計

化学・食品・造船業界などあらゆる分野のメーカ様のご要望に応えるため、様々な計測方式の流量計をラインナップ。

国際整合防爆指針 Ex2015に対応
防爆バッチカウンタ

防爆エリアで直接、操作設定が可能。
視認性、操作性に優れた定量バッチ制御装置。
（耐圧防爆構造：
Exd Ⅱ BT4 Gb）

画像検査選別装置
ミストル・ミストルロボタイプ

ナットやボルトなどの寸法・傷など毎分50～1000個を高速検査可能な標準タイプ。
振動を嫌うワークをロボットによりやさしく把持・検査するロボタイプ。

業界スタンダードの地盤調査機
ジオカルテ

試験荷重の自動変更や各種試験結果収集などBlueToothを用い試験者の負担を軽減。
自動試験のため、データ改ざんなども予防。
タイなど海外各国への展開も進行中。

環境負荷低減
（環境汚染対応）

自動シリンジ内希釈システム搭載分析装置
NSX-5000Vシリーズ

作業効率化と低ランニングコストを実現。試料温調システムにより、揮発性液体試料の適正な採取、導入が可能。石油精製、石油化学、化学工業などの研究開発部門や品質管理部門への展開。

マイクロバブル洗浄装置
バブ・リモ

水中で生成させた微細気泡を利用。
有機溶剤不使用のため、環境にやさしい洗浄を実現します。

制御事業【顧客動向、見通し】

「環境」
「高精度計測」
「安全性」

ターゲット業界の見通し

	見通し
化学・医療・食品 ・分析器、水分計をはじめとする分析機器の需要は、環境問題などを背景に国内外ともに継続増加を見込む。	上昇
エネルギー ・カーボンニュートラルに伴う新燃料の転換によりガス燃料への切り替えによる流量計などの受注増加に期待。	やや上昇
住宅・建築 ・国内は、戸建て住宅向け地盤調査に新タイプのジオカルテⅣへの買い替え需要に期待。海外へも地盤調査機を出荷、受注獲得の気配。	横ばい
自動車 ・作業員不足の問題が広がりをみせ、自動車部品メーカ向けの検査機需要がさらに高まると予想。	やや上昇

４．セグメント別の取り組み

～メディカル事業の取り組み～

メディカル事業【事業成長戦略】

トランスジェニックとの業務提携

業務提携内容

- 医療分野情報の共有
- 両社が持つメディカル分野のアセットの活用による事業領域の拡大
- 相互の人的交流を通じたプロフェッショナルの育成

素材・製品開発 × 医療試験

メディカル事業部門の製品、素材開発と
トランスジェニックグループの
創薬支援プラットフォームとの連携強化を図り、
医療分野において、両社の強みを活かした
新たな事業拡大を目指す。

トランスジェニックグループの強み

基礎研究

- 遺伝子改変マウスの作製受託及び開発
- 糖鎖受託解析、糖鎖受託合成
- 高親和性抗体作製受託及び開発

非臨床試験

- 小～大動物の安全性試験・遺伝毒性試験・環境毒性試験
- 小動物～大動物の薬理薬効試験

臨床試験

- ジェネリック医薬品開発の同等性試験・食品臨床試験
- 治験事務局業務、病院支援業務
- PMDA申請支援

メディカル事業戦略【事業成長戦略】

NITTOSEIKO

世界初！
医療用生体内溶解性
高純度マグネシウム

骨折治療用インプラント

特徴

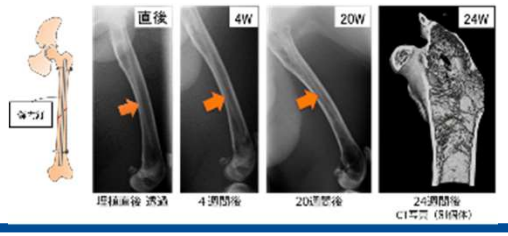
- 99.95%以上の高純度マグネシウムで毒性なく高い安全性
- 生体内で一定期間経過後に溶解をはじめ、その後ゆるやかに長い時間をかけて完全溶解

進捗状況

開発 → 臨床試験 → 治験 → 申請 → 承認 → 販売開始

臨床試験に向け準備中

- 生物学的安全性試験の準備
- 動物実験
- 試験に関する手続き

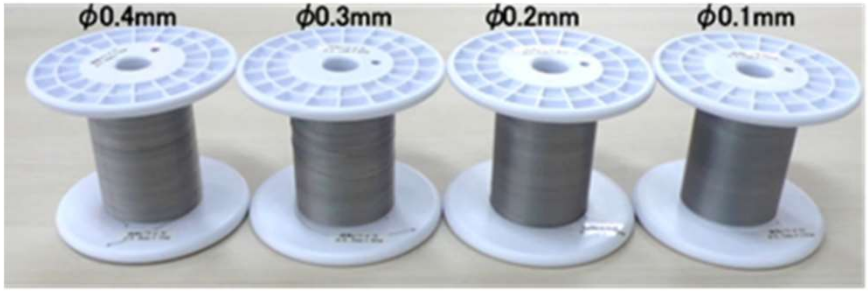


量産体制に向け準備中

- 量産用の設備投資
- 品質、性能の安定性確認

開発の状況

- 高純度マグネシウム材料の細線化技術を確立



5. 経営の考え方

経営の考え方

1	お客さまの要望に対して満足度１２０％対応を心がけています。
2	経営の目的は誰もが幸せになるウェルビーイングの追求です。
3	公益性社会貢献を創業の精神とし、持続可能な社会と企業を実現をめざします。
4	これらすべての実行のために強固な財務体質を確保します。

ＩＲ問合せ窓口
日東精工株式会社　　経営企画室
電　話　　：０７７３－４２－３７３９
E-mail　　：araga-m@nittoseiko.com

本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しと異なることがあります。
実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替、株式市場の動向等があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。